

# ぎふ女性農業委員

## だより

2014年1月31日  
(第4号)

◆編集・発行 岐阜県女性農業委員協議会  
会長 後藤 展子

<事務局>岐阜県農業会議  
〒500-8384 岐阜市藪田南 5-14-12  
TEL:058-268-2527  
FAX:058-273-6177  
E-mail:gifu@nca.or.jp

女性農業委員名簿(H25.11月末現在)

農委会名	氏名	
岐阜市	中川 裕子(選任・1期)	
羽島市	佐藤 文恵(選任・1期)	西川 ひとみ(選任・1期)
	浅野 喜代子(選任・1期)	
瑞穂市	○市橋 直子(選任・5期)	高田 里美(選任・5期)
	高田 住代(選任・2期)	青木 千恵子(選任・2期)
本巣市	大西 由美子(選任・2期)	福田 しげ子(選任・1期)
輪之内町	◇國島 まき(選任・4期)	
揖斐川町	土川 千恵美(選任・1期)	
美濃加茂市	土谷 みつ子(選任・1期)	
可児市	可児 すみ子(選挙・1期)	
七宗町	山岡 洋子(選任・2期)	
八百津町	館林 和子(選挙・1期)	
白川町	○佐伯 美智代(選任・3期)	今井 美沙子(選任・1期)
	安江 直子(選任・4期)	今井 美幸(選任・2期)
東白川村	安江 眞智子(選任・1期)	
	岩田 幸子(選任・1期)	川村 信子(選任・1期)
関市	長尾 初恵(選任・1期)	
瑞浪市	伊藤 美佐枝(選任・2期)	
中津川市	◎後藤 展子(選任・6期)	熊崎 美保子(選任・3期)
恵那市	西尾 ひろみ(選任・3期)	鈴木 佳代子(選任・2期)
	三宅 伸子(選任・1期)	梅本 信枝(選任・1期)
高山市	◇中谷 ちづえ(選任・2期)	橋場 茂子(選任・1期)
飛騨市	○中野 多千子(選挙・5期)	田中 恵子(選挙・2期)
	奥田 眞智子(選挙・2期)	田中 純子(選挙・2期)
	谷口 敏子(選挙・1期)	
白川村	上手 ひろ子(選任・4期)	
下呂市	中川 恭子(選挙・2期)	山下 康子(選任・1期)
	大坪 喜美子(選任・1期)	

◎会長、○副会長、◇監事(協議会役職)

43女性農業委員が  
27名名にか  
!らが

本県の女性農業委員は、昨年度の同時期には18農業委員会から37名が選出されていましたが、改選を迎えた農業委員会からの選出等も進み、平成25年11月末日現在では、20農業委員会から42名の選出となっています。

平成26年7月には35農業委員会で改選が行われることになっており、さらなる増員が期待されています。





1月22日(金)、京都市の「ホテルセントノーム京都」において、全国女性農業委員ネットワーク等の主催で東海近畿ブロック女性農業委員研修会が開催され、本県女性農業委員8名、全体で9県から108名が参加しました。

近畿農政局経営支援課課長補佐の田中太朗氏から「地域農業の活性化や6次産業化に女性の能力を活かすために」、(独)農業者年金基金理事長の



「閉会の挨拶をする岐阜県の  
中野多千子副会長」

## 平成25年度女性農業委員視察研修会並びに 東海・近畿ブロック女性農業委員研修会の開催



↑東海・近畿ブロック女性農業委員  
研修会での活発なグループ討議

中園良行氏から「農業者年金の普及推進について」、全国農業会議所の高橋那緒氏から「第22回農業委員統一選挙に向けた女性農業委員登用の取り組みについて」と題して情報提供があり、さらに、(株)エムスクエア・ラボ代表取締役の加藤百合子氏から「農業イノベーションで明るい未来を！〜農業×○○、○○に何を入れますか〜」と題する講演をいただきました。その後、グループディスカッションとして10グループに分かれ「女性の熱意と行動で魅力ある『ムラ・農業経営』」



↑京田辺市の道の駅「普賢寺ふれあいの駅」

づくりを進めるには」をテーマに討論が行われました。参加された女性農業委員からは、「頑張っている姿を見せることが大事」「農業委員に男性も女性もない」「周りを味方に付け、自らの発言や行動で環境を変えていこう」などの意見が出されました。

なお、来年度の本研修会は、岐阜県での実施が予定されています。また、本県女性農業委員協議会独自の企画として、



↑「ウイングス京都」での意見交換会に出席  
いただいた京都市の女性農業委員の皆さん



↑京都市の「八百一本館」の概要と  
取り組みを説明する弘敏二取締役

「八百一本館」を視察し、その後京都市男女共同参画センター「ウイングス京都」で京都市の女性農業委員3名、京都府農業会議職員を交えて意見交換会を実施。翌2日(金)には、京都市の「里の駅大原」を視察しました。



↑農業委員が中心となって立ち上げた  
京都市の「里の駅大原」

11月21日(木)〜22日(金)に視察研修会を開催しました。  
21日(木)は京田辺市の道の駅「普賢寺ふれあいの駅」、京都市の



↑飛騨市の『まめっこキッチン』で石臼できな粉づくりを体験する園児ら

県農産物流通課が実施する「キッズキッチン」活動、県女性農業委員協議会や県農業会議が推進する食農教育活動の取り組みも3年目となり、県下各地で新たな食農教育活動が進められています。飛騨市では、平成23年度から調理を通じて子どもたちに「食べること」「命の大切さ」「旬の野菜」などを知ってもらうことを目的として女性農業委員と女性農業経営アドバイザーによる「キッズキッチン事業」に取り組んでおり、平成24年度からは「ぼくとわたしが主役の『まめっこキッチン』

## 県下各地で進む食農教育の取り組み

穫実習や調理実習など食育・食農教育活動の現状、今後の教育機関と農業委員会との連携・協力等について意見を交わしました。

市内の保育園・幼稚園・小学校で行われている農作物の収穫実習や調理実習など食育・食農教育機関の食育担当者らとの「食育・食農教育に関する意見交換会」を開催し、

7月1日に初の女性農業委員3名が就任したのを機に食農教育の取り組みを強化。7月30日には県や市の関係者、各教育機関の食育担当者らとの「食育・食農教育に関する意見交換会」を開催し、



↑羽島市で開催された意見交換会

「キン」そして、変身する大豆の話、石臼できな粉づくり、包丁を使つての調理実習、試食といった内容で食農教育を実践。本年度は11月12日、12月10日、12月13日の計3回実施しました。羽島市では、

### ＜編集後記＞

女性農業委員各位におかれては、日頃から地域での食農教育の推進などに積極的にお取り組みいただき感謝申し上げます。

本県の農業委員902名のうち女性農業委員は42名で、徐々に増えてきています。農林水産省では、男女共同参画基本計画の「2020年までに指導的地位にある女性の占める割合が少なくとも30%程度となるように期待」を受け、「女性農業委員が1人も登用されていない農業委員会の解消」と「平成27年3月までに一農業委員会あたり2名以上の女性農業委員を選出」を具体的目標に掲げて、その実現に向け市町村農業委員会と県農業会議と一体になって取り組みを強化しています。

農業者の視点でお届けします



情報が拓く 経営とくらし

# 全国農業新聞

金曜日発行 月600円、年7,200円